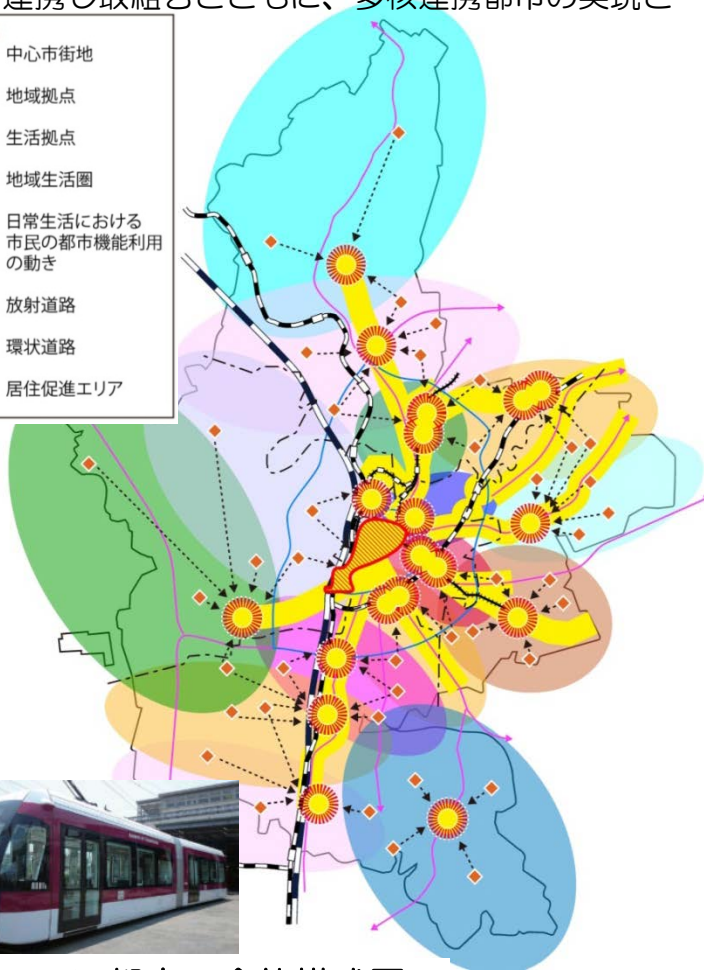


提案概要

○熊本市では超高齢化・人口減少社会に対応したコンパクトで持続可能な『多核連携都市』を実現するため、中心市街地や15箇所の地域拠点に都市機能の維持・確保を図る。併せて、利便性の高い公共交通で中心市街地と地域拠点を結びるとともに、公共交通軸沿線の人口密度を維持するなど、公共交通と一体的となったまちづくりを推進する。

○また、在宅医療・介護の連携強化や健康づくり、生涯学習など市民生活に密着したまちづくり・地域づくりとも連携し取組むとともに、多核連携都市の実現と一体となった低炭素・循環型の都市づくりも推進する。



公共交通と一体的となったまちづくりを軸に、様々な分野の施策と連携し総合的に展開する。

持続可能で創造的な多核連携都市

(1) コンパクトシティの形成

- ・中心市街地や地域拠点に都市機能の維持・確保を図る。
- ・利便性の高い公共交通軸沿線の人口密度の維持を図る。

(2) 地域公共交通の再生

- ・中心市街地と地域拠点を利便性の高い公共交通で結ぶ。
- ・地域拠点等における乗換拠点整備を交通事業者と共に進める。

(3) 中心市街地活性化

- ・熊本城の復元や市街地再開発事業等により交流拠点を整備する。
- ・公共交通による来街を促すと共に居心地よい空間を創出する。

(4) 低炭素・循環型の都市地域の形成

- ・豊かな水と緑に恵まれた暮らしやすい都市を維持するため、地下水質・水量の保全を図る。

(5) 連携中枢都市圏の形成

- ・連携中枢都市圏のけん引役として、地域産業の振興や公共交通網整備などの取組みについて近隣市町村との広域連携を推進する。

(6) 教育・文化活動等を通じた地域コミュニティの形成

- ・持続的な学びの支援、生涯学習ネットワークの構築等により地域コミュニティの形成を促進する。

(7) 地域包括ケアシステム構築

- ・地域での在宅医療・介護の提供体制の整備を図るとともに、地域毎の健康まちづくりを推進する。



▲ 都市の全体構成図